

会議録

会議の名称	第6回 西東京市地域コミュニティ検討委員会
開催日時	平成26年3月8日（土曜日）午後4時30分～5時
開催場所	西東京市市民会館 3階大会議室
出席者	委員：伊村委員（委員長）、伊藤委員（副委員長）、工藤委員、栗山委員、幸内委員、菅野委員、土谷委員、土方委員、井手委員、志村委員、丸山委員 事務局：協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係主事、株式会社エックス都市研究所
報告事項	(1) 本日の「地域コミュニティ・シンポジウム」について
議題	1 フリーディスカッション（シンポジウムの感想、今後の地域コミュニティについて思うことなど） 2 第7回委員会（次年度）の開催について
会議資料の名称	資料1 平成26年度 地域コミュニティ検討委員会と(仮称)地域協議体南部モデル地区会議の進め方（案） 資料2 地域にあるコミュニティに関わる主な組織表（改訂版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>事務局： 第6回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。また、本日は、シンポジウムに出席していただき、ありがとうございました。</p> <p>2 報告事項</p> <p>事務局： 本日のシンポジウムの参加者数は、32名でした。</p> <p>委員長： 時間の都合上、まずは(2)からはじめ、次に(1)の順に進行することにする。資料①について、事務局から報告をお願いしたい。</p> <p>事務局： 資料1について説明（来年度の予定などについて）</p> <p>委員長： 資料について意見はないか。市の防災訓練の日程はいつごろか。</p> <p>副委員長： 9月の第1日曜日である。</p>	

委員長：

資料に関連して、自治会・町内会への補助金についてもご説明願いたい。

○事務局：

現在、3月議会を進めているところだが、すべての党派からコミュニティ関連の質問が出された。質問の内容としては、これまでの経緯や目標、課題などである。また、意見の中には、協議体の活動場所や活動資金などの意見もあった。

自治会・町内会の補助金については、本会議で案が通れば、次年度に執行することになる。現在、226団体及びマンションの管理組合が290あると思われるが、これらの団体を対象としたいと考えている。

なお、事業を提案してもらった形で補助金を出す予定である。補助金の内訳として、団体割で12,000円、それに加え、1世帯当たり200円の合計額を、補助金の上限額とする。

委員長：

1年あたり1回の申請という理解でよいか。

事務局：

その通りで、1団体の申請については1回受け付ける。概ね7月ごろを予定している。

委員長：

ほかに意見はないか。

委員：

とにかく南部のモデル地区を成功に導いて、早く進めるべきである。実績を作ってもらえれば、別の地区にも展開しやすくなるのではないか。

副委員長：

モデル地区は1年にひとつずつではなく、一斉に4地区立ち上げた方がよいのではないか。

委員長：

準備期間を持ってやってみようか。熟成していない地域もあると思う。すべての地域が一律に同じ様な形で立ち上がらなくてもよいのではないか。地域特性があるので、よその地域のことが当該地域に当てはまるとは限らない。

事務局：

確かに立ち上げについては、1つの案だとは思いますが、現在の事務局の体制から言うと、4地区すべてを一斉に立ち上げるのは難しい。

委員長：

事務局の状況は理解しているが、1年に1地区ずつ立ち上げていくとなると準備期間がない。その場合、市民に負担がかかってしまう。市民のことを優先して考え、市民のテンポに合わせた方がよいと思う。もう一度その点を検討してもらえればと思う。

副委員長：

集まって話すといった機会だけでもいいので、何かしら進めた方がよいのではないか。

委員長：

次に、シンポジウムの感想を各委員からいただく予定だったが、本日会場の都合で時間がないため、メール・ファクスで事務局へ提出していただきたい。今回の委員会は、これで終了したいと思う。

事務局：

次年度の第7回委員会は、後日、事務局で調整させていただく。